

①

## 以心伝心

Ishin Denshin: a Communication Aid for Persons with Severe Motor and Intellectual Disabilities

— 家族等がいなくても重症心身障害児者の想いを解釈・代弁します! —

志エンボディ合同会社 / 愛媛大学

重症心身障害児者が容易に意思表示できる音声出力型会話補助装置(アプリ版VOCA)です。重症心身障害がある方と会話する場合、家族やご本人をよく知る支援者が解釈しながら読み取る方法が広く使われていますが、家族・支援者がいないと他の人では読み取れません。この製品は、家族・支援者の代わりに、ご本人の意図・想いを読み取って代弁するコミュニケーションエイドです。事前に伝えたいメッセージを音声で代弁(録音)しておく、ご本人がいる場所・時間等に応じて、伝えたいメッセージの候補が自動で表示され、ご本人特有の身体動作をセンサーが感知して、複数の候補から一つの録音音声が決まり再生されます。

②

## FEEL TECH®

FEEL TECH®

— 触り心地が共有できる新しいコミュニケーション —

株式会社NTTドコモ 6Gネットワークイノベーション部

FEEL TECH®は、モノに触れた時の触り心地を相手の感じ方に合わせて伝える触覚共有技術です。例えば、施設に入居している高齢者を対象として「遠くの場所にあるモノや家族の感じている肌触りが伝わる」といった活用が期待されます。本展示では実際に触覚共有の体験が可能です。ブースに立ち寄り頂き、実用化に向け福祉分野に関わる方の要望・意見等を頂戴したいです。

また、ドコモは触覚の共有に留まらず、人間拡張分野において様々なデバイス技術を持つ企業とも連携を進めています。是非一度、ドコモの新しいコミュニケーションの実現に向けた取り組みをご覧ください。

③

## Hapbeat

Hapbeat

— 首にかけるだけで音を「体感」できるネックレス型デバイス —

Hapbeat合同会社

Hapbeat は東京工業大学で発明した張力式振動生成機構を用いることで、そのコンパクトな見た目からは想像できないほどパワフルかつ繊細な音の振動を表現することができます。Hapbeatを用いることで、聴覚障害者の方にも、ボールをラケットで叩いた音や拍手音、選手や審判の話し声、演者が舞台を踏みしめた音など、あらゆる音を身体で体感していただくことが可能です。またネックレス型であることから、ネームプレートのように会場の来場者にその場で配って使用していただくことも容易です。このように Hapbeat は性能と利便性を兼ね備えており、誰でも楽しめる観劇・観戦体験の実現に貢献します。

④

## VUEVO マイク&アプリケーション

VUEVO Mic&Application

— 「誰が」「何を」話しているかをリアルタイムかつ直観的に表示 —

ビクシーダストテクノロジーズ株式会社

「VUEVO(ビューボ)」は聴覚障害や聞こえにくさがある方と聴者のコミュニケーションを円滑にすることで、日々の業務の課題を解決していただきたいという思いから生まれました。

〈できること〉

- ・複数人との会話や会議などの場面で「誰が」「何を」話しているか理解ができる
- ・会話内容が保存でき、会話の振り返りや議事録としても活用できる(要約やwordダウンロードも可)
- ・雑談や何気ない会話の聞き取りにも手軽に使い施設でのコミュニケーションが活発になる

〈利用シーン〉

- ・施設でのレクリエーション
- ・利用者同士の雑談
- ・職員間の会議内容の記録や要約

〈特徴〉

- ・高性能マイクと使いやすさ
- ・PC/スマートフォン/タブレットに対応

⑤

## CareWiz トルト

CareWiz Toruto

— スマホで高齢者の様子を動画で「撮る」だけで身体機能が見える化 —

株式会社エクサホームケア

「CareWiz トルト」は、スマホで高齢者の様子を動画で「撮る」だけで歩行状態や口腔機能が見える化する、介護事業者向けの身体機能分析AIです。歩行分析AIは5m歩行する様子を撮影、口腔分析AIは「パ・タ・カ」と10回発音する様子を録音するだけで、AIがわかりやすいレポートを作成します。転倒リスクや口全体の力などそれぞれ複数の項目を点数化し、改善ポイントやおすすめの運動を提案します。これにより、利用者や家族の満足度向上や、スタッフ間で動画を通した意思疎通を図ることで情報連携が可能となります。また、提案の質が向上することで、新規の利用者獲得など売上向上にも寄与します。

⑥

## サイボーグ義手プラットフォーム

Cyborg platform for prosthetic hand that can be fitted in stages as the patient grows

— 組合せにより成長に応じ段階的に構成できる義手プラットフォーム —

株式会社Mu-BORG / 国立大学法人電気通信大学 / 横浜国立大学 / 東京理科大学

子どもから成人まで成長に合わせて段階的に組合せ可能な義手システムです。筋電義手とは、筋肉の信号を利用して装着者の意思で指を動かすことができる義手をいいますが、弊社の筋電義手は、他社製には無い個性適応学習機能を搭載しており、使用者の筋電パターンと義手の手指運動パターンを後天的に対応づけることで、義手を自在にコントロールすることができます。AIによって使う人の筋活動を義手が学習し、ご本人の使用時の筋活動に義手が合わせるため、筋活動が弱く適用が難しかった方にも利用が期待できます。また、電動モジュールは筋電のみならず様々なセンサに対して組合せ可能であるため、残存指などを用いて義手の操作が可能です。

⑦

## 見える補聴器

Visual Hearing Aids

－ 会話内容をARグラスに表示するソリューションです。－

株式会社Spacial

見える補聴器は、ARグラスに会話内容を文字起こしするソリューションです。相手のしゃべった内容がARグラスで文字として表示されるので耳が聞こえない方でも会話をすることが可能になります。

ただの文字起こしだけでなく、翻訳することも出来るので翻訳機として使うことも出来ます。(開発調整中)

また、製品の説明とデモ用として弊社で開発している空中立体結像装置も展示します。

AIキャラクターが3Dで浮かび上がって、製品の説明と見える補聴器のやり取りのテストが出来ます。

SF映画のような体験とともに未来のコミュニケーションを感じてください。



⑧

## 視覚障害者向け歩行ナビゲーションシステム「あしらせ」

ASHIRASE

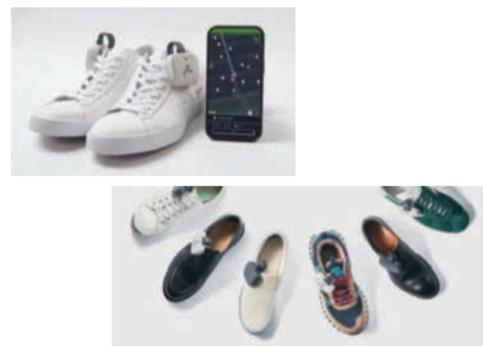
－ 足への振動でナビゲートするスマートフォン連動型デバイス －

株式会社Ashirase

靴に取り付ける機器とスマートフォン向け専用アプリが連携し、目的地までのナビゲーション情報を靴の中の振動を用いてお伝えします。聴覚や手を邪魔することなく、ユーザーが安全や周囲の確認などに無理なく集中できるよう、単独歩行をサポートします。

【特徴】

- \*目的地を設定した後は、スマートフォンをカバンなどに入れたままで利用可能です。
- \*生活防水となっていますので、雨天でもご使用いただけます。
- \*専用アプリケーションは随時アップデートしております。



⑨

## Hineru(ハイネル) HineruChair(ハイネルチェア)

Hineru HineruChair

－ 自分で、自分の好きな姿勢に自由に姿勢を変えられる車いす －

株式会社コポリン

同じ姿勢を続けるのがつらいあなたへ。  
手元のスイッチで姿勢を変えられるとしたら、どうですか？  
伸ばす、ねじる、傾ける。

あなたの好きな時に、好きな姿勢をとることが出来ます。  
姿勢は誰かに決められるものではなく、自分自身で決定しませんか？

ハイネルの名前の由来は身体を“ひねる”という特徴からきています。  
Hineruと書いてハイネルと読みます。

一般的に普及している電動ティルト・電動リクライニングに加え、側屈(傾ける)回旋(ひねる)上下(伸ばす/縮める)という独自の機能を搭載しております。

体をひねって、伸ばして、気持ちよくなって「はい! 寝る」で覚えてください。



⑩

## futto

futto

－ 世界初! ゴムのかでアシストする歩行筋サポートギア －

株式会社YAMADA

「futto」は、運動学、解剖学に基づいた理論をもとに、歩行のプロセスを分析して開発した骨格筋サポートギアです。歩き始め、着地した時、歩行中など、それぞれの場面によって負荷がかかる筋肉が異なるため、一連の動作をサポートをすることは容易なことではありません。当社では、歩行に悩みを抱える多数の方々にはアヒリングをしながら、場面ごとにもっとも必要な筋肉のサポートができるメカニズムを、実現することができました。超高齢社会である日本から世界へ、医療界・介護界・スポーツ界を変える新たな「歩行モデル」と、一人一人が人生を「歩み続けられるライフスタイル」をご提案します。



### 【厚生労働省】障害者自立支援機器等開発促進事業の紹介

#### 事業目的・事業内容

本事業は、**障害者の自立や社会参加の促進に資する支援機器の開発及び普及促進の取り組みに対して補助を行うこと**を目的に、以下の事業を行っております。

- (1) 障害者の実用的な自立支援機器の開発に要する費用の補助事業 ※医療機器の開発は補助対象外とする
  - ①テーマ設定型事業 ②製品種目特定型事業 ③**新SBIR制度フェーズ2に係る事業(令和5年より新規創設)**
- (2) ニーズ・シーズマッチング強化事業
- (3) 自立支援機器等イノベーション人材育成事業

#### 実施主体・補助率

実施主体：民間団体(公算)  
補助率：(1)は中小企業2/3※(1)②③は初年度のみ10/10、大企業・公益法人1/2、(2)(3)は定額(10/10相当)

#### (1) 自立支援機器開発費用の補助事業

実用的な支援機器の開発に要する費用を補助します。

- 対象事業
- ①テーマ設定型事業(8テーマ)
  - ②製品種目特定型事業(4種目)
  - ③**新SBIR制度フェーズ2に係る事業**

開発期間：①②最長3年、③最長2年  
\*毎年応募書類の提出が必要

補助対象経費の上限額：  
1件あたり2千万円\*補助率は上記参照

詳細はこちら↓  
<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001083745.pdf>

#### (2) ニーズ・シーズマッチング強化事業

ニーズ側とシーズ側が、意見交換等を行う場を設けております。

【Web開催】  
10月1日(日)～1月31日(水)

【大阪会場】  
11月27日(月)～29日(水)  
大阪マーチャングアイスマート

【東京会場】  
12月12日(火)～14日(木)  
東京都立産業貿易センター浜松町館

詳細はこちら↓  
<https://www.techno-aids.or.jp/needsmatch/>

#### (3) 自立支援機器等イノベーション人材育成事業

開発プロセスを体系的に学ぶワークショップを開催します。

- 対象：
- ・支援機器開発に意欲のある医療・福祉専門職、研究者
  - ・支援機器を開発する企業

参加条件：  
・月1回、計7回のプログラムに参加できること等

活動場所：大阪会場・東京会場

詳細はこちら↓  
<https://www.premopartners.com/aidp/>